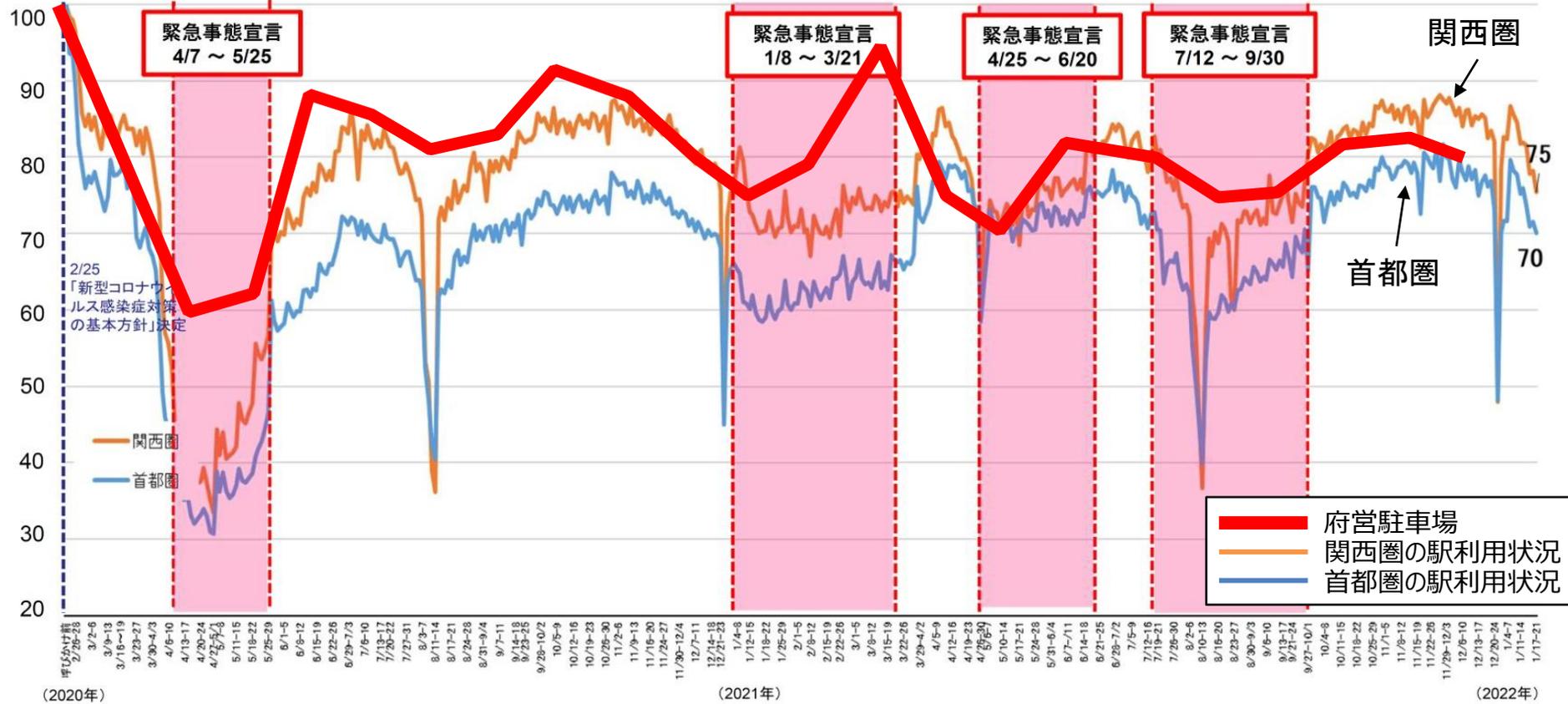


新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化

駅の利用状況、駐車場の利用状況



【駅の利用状況の出典】国土交通省

【駅の利用状況】
 ※JR（JR東日本、JR西日本）、大手民鉄（東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神）の主なターミナル駅における平日ピーク時間帯の自動改札出場者数の減少率の平均値
 ※数値は、呼びかけ前を100とした場合の指数
 ※「呼びかけ前」は、2月17日の週の特定日
 ※ピーク時間帯は、各駅において7:30～9:30の間の1時間で最も利用者が多い時間帯
 ※主なターミナル駅は、以下のとおり
 首都圏：東京、新宿、渋谷、品川、池袋、高田馬場、大手町、北千住、押上、日暮里、町田、横浜 関西圏：大阪・梅田、京都、神戸三宮、難波、京橋

【駐車場の利用状況】
 ※府営駐車場の利用状況は、令和元年の同月を100とした場合の、当該月の指数（3駐車場合計）

新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化

参考資料 6

	駐車場	鉄道の利用状況	人流の変化
江坂	85% (89%) 2019年：112,185台 2021年：94,770台 (2020年：100,322台)	(大阪メトロ御堂筋線 梅田駅) 66 (72) (北大阪急行 千里中央駅) 70 (75)	(大阪駅) -35.6% (-30.2%) (梅田駅) -29.6% (-25.6%)
茨木	74% (78%) 2019年：83,369台 2021年：61,876台 (2020年：65,140台)	(J R西日本 大阪駅) 63 (70)	(千里中央駅) - (-26.0%)
新石切	75% (81%) 2019年：52,176台 2021年：38,910台 (2020年：42,359台)	(大阪メトロ中央線 堺筋本町駅) 68 (74) (近鉄けいはんな線 生駒駅) 73 (77)	-
備考	2019年同時期の 利用台数 を100%としたときの2021年の利用状況を表したもの ※右の()内は2020年の利用状況を表したもの	2019年同時期の ピーク乗車人員 (または降車人員、乗降人員) を100としたときの2021年6月第一週の利用状況を指数で表したもの ※右の()内は2020年9月第一週の利用状況を指数で表したもの 【出典：国土交通省】	2022年2月1日15時台「 平均人口 」の2019年同月比 ※下の()内は2021年2月8日15時台のデータ 平均人口：各時間単位ごとに、どれくらいの人が平均して対象エリアに滞在していたかを表す値 【出典：株式会社Agoop 「新型コロナウイルス拡散における人流変化の解析」】